

令和元年度

地域と学校のパートナーシップ推進フォーラム

令和元年12月5日(木)みどり市笠懸公民館交流ホールにおいて本フォーラムを開催いたしました。本事業は、学校・家庭・地域のよりよい連携・協働の推進をテーマに毎年開催し、今回で17回目の開催となりました。複雑・多様化した現代社会の様々な課題を解決するため、幅広い地域連携を生かした学校の先進的な取組や、そうした地域連携がもたらす実際の効果等について情報提供をすると共に、学校・家庭・地域・行政のそれぞれの役割について共通理解を進めることを目的としています。本事業の内容等については以下のとおりです。

「子どもを主役にする地域づくり」

～学校と地域の連携・協働のためにできること～

東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤 氏をお招きし、御講演いただきました。講演では、大学教授、中央教育審議会生涯学習分野会委員等の幅広い経験をもとに、テーマについて、具体的にわかりやすく、丁寧に説明いただきました。

【参加者の声】

○社会の背景について、理解を深めることができた。人生100年時代をむかえるにあたり、底抜けしない社会の必要性を感じた。生涯にわたって学び続ける意欲をもち続けるには、地域とともに連携・協働を意識していかなければならないと思った。

○人口分布から、高齢世代が子どもたちのために活躍する必要性があり、効果があることが分かった。子どもの非認知能力、言葉を鍛えるためにも、学校だけでなく、地域の人々と連携していくことで、より効果があり互いにメリットがあるのではないかと思った。

○学校も守りに入るのではなく、外に出て地域の方々の考えを聞いたり、学校の中で抱え込んでいるものを分かち合い、より良い子どもの育成に結びつけられたらどんなにいいだろうと思った。

○これからの学校と地域との関わり方を変えていく必要があることが分かった。子どもたちの未来を考え、社会全体、地域全体で子どもたちを育てていく必要性を感じることができた。

○子どもたちが生きていく将来の社会像がよく理解できた。学校現場では、子どもたちの自己肯定感を高めるための取組を行っているが、「ことば」を通してこそ、より強められることが分かった。

